

I 弟子たちの関心とイエス様の関心

ヨハネ4:27 このとき、弟子たちが帰って来て、**イエスが女の人と話しておられるのを不思議に思った。しかし、だれも、「何を求めておられるのですか」とも、「なぜ彼女と話しておられるのですか」とも言わなかった。**

28 女は、**自分の水がめを置いて町へ行き**、人々に言った。29 「来て、見てください。私のしたこと全部を私に言った人がいるのです。この方がキリストなのでしょうか。」30 そこえ、彼らは町を出て、イエスのほうへやって来た。

31 そのころ弟子たちはイエスに、「**先生。召し上がってください**」とお願いした。32 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたの知らない食物があります。」33 そこで、弟子たちは互いに言った。「**だれか食べる物を持って来たのだろうか。**」34 イエスは彼らに言われた。「わたしを遣わした方のみこころを行い、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。」

1. サマリヤの女との会話

- イエス様は、サマリヤの女に会うために、ユダヤ人とはつきあいが無い、サマリヤまで来られた
- イエス様は、サマリヤの女に個人的に話をされた。「救い主」として証しされた。
- サマリヤの女は、イエス様に会って、水瓶を置いて、町にイエス様の証をしに出で行った

2. 弟子たちの応答

- 誰もイエス様がサマリヤに行くのかたずねなかった【ユダヤ人の慣習と違う行為】
- 誰もイエス様がサマリヤの女と話しているのを訪ねなかった【ユダヤ人の教師は女性と話さない】
- ➔ 弟子たちは、イエス様の言動に対して無関心であった。

3. 弟子たちの関心

- 肉の食べ物

弟子たちは、イエス様の食事の準備で頭がいっぱいでした。サマリヤに到着したら、彼らが最初にしたことは、町に食べ物を買出しに行くことでした。町から帰ってきたら、食事の準備で忙しくて、イエス様がサマリヤの女と話しているのを不思議には思ったけれども、関心が薄くてイエス様に質問もしませんでした。彼らには、霊的な目が開かれていなかったのです。

4. イエス様の関心

- 霊の食べ物

「あなた方の知らない食べ物」「遣わした方のみこころを行い、みわざを成し遂げること」

イエス様は、そんな弟子たちに「霊の食べ物」を教えられます。

- 肉の食べ物も必要ですが、クリスチャンとして「霊の食べ物」もなくてはならないものです。「**『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。**」(マタイの福音書4:4)

- 「神様の御心を行うこと」

イエス様は、ユダヤ人の習慣に従って歩むことなく、神様の御心に従って宣教されました。
自分の考えや世の中の習慣ではなくて、神様の御言葉に従って、歩いて行くことです。

- 「神様の御業を成し遂げること」

イエス様は、父なる神様に従い、福音を伝え、十字架で全人類の罪の贖いを成し遂げられました。
福音を伝えること、イエス様の御名により神様の力を世に現わしていくこと。

II 霊の目で見ると

ヨハネ4:35 あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。

1. 「刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある」と言っていませんか【自分の声、世の声】
2. 私の言うことを聞きなさい【誰に聞くのか】
3. 目を上げて、畑を見なさい 色づいて、刈り入れるばかりになっています【霊の目で見ると】

イエス様は、サマリヤの人々を見てみなさい。とされています。ユダヤ人の目には、サマリヤ人はユダヤ教と偶像礼拝をミックスした忌み嫌うべき存在で、つきあひもしない人々でした。彼らが救われることは、頭にもないことでした。

イエス様にとって、サマリヤ人の救いも御心のうちがありました。サマリヤ人の心は福音を受け入れる準備ができていたのです。魂の刈り取りの直前でした。イエス様はこのために、サマリヤの女を訪ねて、ご自身で福音を伝えられたのです。

この瞬間、サマリヤの女は自分の水がめを置き去りにして、イエス様のことを証するために、町に出かけて行きました。サマリヤの女の話によって、多くの人々が救われました。

III ペンテコステで変えられた弟子たち

使徒4:29 主よ。いま彼らの脅かしをご覧になり、あなたのしもべたちにみことばを大胆に語らせてください。30 御手を伸ばしていやしを行わせ、あなたの聖なるしもべイエスの御名によって、しるしと不思議なわざを行わせてください。」

➔ 聖霊に満たされた弟子たちは、霊の目で見ることができるようになりました

1. 宗教リーダーたちの迫害や復讐ではなくて彼らの救いを見ました。
2. 大胆に御言葉を語ることを求め
3. 神様の御業を行うことを求めました

応用

➔ イエス様は、サマリヤの人々の魂の収穫を見て、ユダヤの習慣に従わないで神様の御心に従いサマリヤの女を訪ねて行き、ご自身で福音を伝えられました。結果、サマリヤの女によってリバイバルが起こったのです。

1. あなたの人生の関心は何ですか。【肉的なことに集中していませんか。】
弟子たちは、イエス様の食事を準備することだけに集中していました。霊的なことに無関心でした。イエス様の食べ物、霊の食べ物に関心を持ちましょう。福音を伝え、御業をなすこと。
2. イエス様は、「目を上げて畑を見なさい」と言われます。
自分中心の生活から、周りを見回す生活に変えましょう。
救われていない自分の家族、教会の人々、職場の人々、友人、近所の人々を見渡してみましょう。
3. イエス様は言われます「私の言うことを聞きなさい」「色づいて、刈り入れ時です」
人々を自分の思いや外観で見えていませんか。
「救われるには時間がかかる、福音を語るのは難しい、今は時ではない、救われて欲しくない」
自分の思いや考え、外観に聞くことなく、イエス様の声を聞きましょう。福音を伝えましょう。受け入れて救われる準備ができていると主はいわれます。
4. まず祈りましょう。とりなしをして祈りましょう。そして、福音を伝えましょう。
救いに導き、イエス様の御名により、癒しと回復を祈りましょう。